

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○10月10日～

先週末の雇用統計が強い結果となり、再びドル高と株安の動きが加速しました。
各国の中央銀行がドル高対策の行動を取るなどドル高に苦戦しています。
米国の利上げは続きそうですが米国以外の国は、経済や金融に不安が出始めているため利上げや金融引き締めシナリオに修正の動きが出る可能性があります。
米国は今のところドル高メリットが大きいためドル高に対して行動を取ることはなさそうです。円安だけが問題になっているのではなく、ドルに対して円は24年ぶり、ユーロは20年ぶり、ポンドは37年ぶりの安値と歴史的なドル高水準にきています。
米国と日本は月曜が祝日のため株は休場です。

<ドル／円>

ドルは145円後半では介入警戒感が強く、高値での攻防が続きそうです。
下がっても買いが入りやすく、下値は143円あたりでは固くなっています。
144円台でも買い意欲が強いのでドルは押し目買い戦略で考えたいです。

<気になるクロス円>

クロス円は下げてきているため安値更新に注意がいります。
下げ止まるまでは買いは見送り、売りからのチャンスを狙った方がよさそうです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では8月貿易収支、8月機械受注などがあります。
米国では9月卸売物価指数、FOMC議事要旨、9月消費者物価指数、前週分新規失業保険申請件数、9月小売売上高、10月ミシガン大学消費者信頼感指数の発表などがあります。
欧州ではユーロ圏とドイツで9月製造業・サービス業PMI（改定値）、8月小売売上高、ユーロ圏で8月鉱工業生産、ドイツで9月消費者物価指数などがあります。
ほかには英国で8月GDPの発表などがあります。